



# 第24回 関西ライフサイエンス リーディングサイエンティストセミナー



本セミナーは、ライフサイエンス分野で最先端の研究を展開されている関西の先生方にご講演をいただき、製薬、医療機器、診断薬、健康食品、医療関係者などのライフサイエンス関係者および一般の方々に、健康・医療産業に対するインスピレーションと産業化へのイメージーションを感じていただくことを目的としています。このことは、産官学にわたる組織横断的なコミュニティの醸成と、産官学の対話促進につながるものと期待しています。

本セミナーは、3か月に一度の頻度で開催し、毎回2名の講師の先生から、最先端の研究についてホットな話題をお聞きいただけます。また、交流会では講師の先生と直接お話しいただけます。

記

日時：2020年**6月25日（木）** 14:00～16:00

場所：WEB開催（zoomを使用します）

申込者には当日のアクセス方法を別途メールでご連絡いたします。

zoomが使用できない場合はご参加いただけませんのでご了承ください。

参加費：無料

主催：NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議、公益財団法人都市活力研究所

共催：NPO法人バイオグリッドセンター関西

後援：関西医薬品協会

講演 I 14:00-15:00

「脳波センシング技術とAI技術が生み出す医療・ヘルスケア創生  
～ブレインビッグデータを活用した予防・治療の開拓～」  
大阪大学 総長補佐・栄養教授 大阪大学産業科学研究所 教授 関谷 毅

本講演では、世界最薄・最軽量で伸縮可能なフレキシブルエレクトロニクス技術を用いて開発された「シート型脳波計」と、巨大な脳活動信号を可視化する「ブレインアルゴリズム」の融合技術により実現される医療、ヘルスケアについて紹介いたします。現在のICT・AI技術により生み出された「ブレインビッグデータ」を活用した予防・治療への取り組みを、医療機関との具体的な連携成果とともに紹介いたします。

講演Ⅱ 15:00-16:00

「血管内皮幹細胞を用いた新しい血管再生療法の開発」

大阪大学 微生物病研究所 情報伝達分野 教授 高倉 伸幸

白血病に対し骨髄移植が完治をもたらすのは、骨髄の中に造血幹細胞が存在し、この細胞がレシピエントの造血幹細胞と置換することで、正常な骨髄機能が回復するからである。同様に、種々の臓器の再生において、臓器特異的な幹細胞を同定し、組織再生に応用するといういわゆる体性幹細胞移植が今後可能になるかもしれない。本シンポジウムでは、血管内皮幹細胞の幹細胞性を機能的に捉えて単離する方法と、細胞表面マーカーによって表現型として単離する方法について紹介し、血管の修復・維持・再生における血管内皮幹細胞の存在意義について紹介する。

----- 【次回のご案内】 -----

〈第25回〉

日時： 2020年9月29日（火） 14:00~16:00

場所： オンライン開催（Zoom利用）

〈プログラム〉

14:00~15:00

「白血病を発症させる原因遺伝子の解明 ―生まれた時から白血病は始まっている―」

京都大学大学院 医学研究科 腫瘍生物講座 講師 牧島 秀樹

15:00~16:00

「新しい医薬品としてのラクダ科動物由来VHH抗体」

産業技術総合研究所 バイオメディカルRI 副研究部門長 萩原 義久

-----

問合先：NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議 事務局 電話：06-4963-2107（国松、大嶋）

公益財団法人都市活力研究所

電話：06-6359-1322（味村）